



平成22年8月25日

各位

会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ  
 代表者名 代表取締役社長 西澤 庄藏  
 (コード番号：5726 東証第一部)  
 問合せ先 総務部長 岡田 宗久  
 (TEL. 06-6413-9911)

スポンジチタン生産能力増強投資再開並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近のチタン需要の回復を受け、凍結しておりましたスポンジチタン生産能力増強投資の一部を再開することを、本日開催の取締役会において決議いたしましたのでお知らせします。また、平成22年5月28日に公表しました業績予想につきましても、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. スポンジチタン生産能力増強投資の再開について

(1) 増強投資の内容

スポンジチタン年産 24,000 トン→41,000 トンへの増強投資のうち、現在工事中断・凍結中の下記2nd ステップ増強投資を再開し戦力化する。

<増強投資のステップと進捗>

	増強ステップ	投資額 (計画)	進捗	今回決定
既稼動	1st ステップ 年産 24000→32000 トン	億円 253	平成20年10月 完成・稼動済み	—
工事中断 ・凍結中	2nd ステップ 年産 32000→38000 トン	66	工事進捗率8割 で中断・凍結中 (平成21年1月～)	工事再開 〔残投資額：11億円 平成22年11月より順次 立ち上げ、23年4月完成〕
	3rd ステップ 年産 38000→41000 トン	36	工事進捗率3割 で中断・凍結中 (平成21年1月～)	〔今後の需要動向を見ながら 工事再開を判断〕

(計 355億円)

注1：能力は一般品換算ベース

注2：能力は現在全面休止中の5トンバッチ炉を含む。なお5トンバッチ炉は必要なりフレッシュおよび改善工事を実施後、平成23年度第2四半期を目途に再稼動する。

## (2) 背景

平成20年10月に計画どおり1stステップの増強完成後、世界経済の後退に新型航空機の納入遅延が重なり、チタンの需要環境が悪化したため、着工済みの2ndステップ（当初完成予定平成21年7月）、3rdステップ（同平成21年10月）の工事を凍結しましたが、平成22年に入って在庫調整の進展と航空機向けを主体とする実需の回復によりチタン需要は急速に回復しつつあります。この傾向は新型航空機用需要の本格化も相まって今後更に強まると予想されます。このような需要環境の変化に備えて生産体制の準備を進めてまいります。

## 2. 業績予想の修正について

### (1) 平成23年3月期 第2四半期累計期間業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,500	△1,200	△1,600	△1,900	△51 63
今回修正予想 (B)	14,400	△800	△1,200	△1,700	△46 20
増減額 (B-A)	1,900	400	400	200	—
増減率 (%)	15.2	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (22年3月期第2四半期)	17,352	1,863	1,173	638	17 36

### (2) 平成23年3月期 通期業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	26,500	△2,300	△3,300	△2,900	△78 81
今回修正予想 (B)	32,200	△5,500	△6,200	△4,600	△125 00
増減額 (B-A)	5,700	△3,200	△2,900	△1,700	—
増減率 (%)	21.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (22年3月期)	31,908	1,563	435	124	3 38

### (3) 修正の理由

前述のとおり、チタン需要の急回復に加え、高機能材料につきましても半導体需要等の回復に伴い堅調に推移していることから売上高は増加を見込んでおります。

一方利益につきましては、売上高の増加はありますものの、ポリシリコン岸和田工場が当初計画どおり今年度内の稼働が見込めることから改めて減価償却費を織り込んだことに加え、スポンジチタン増産対応のための投資再開に伴う減価償却費や休止設備再稼働のための一時費用等が発生するため、前回予想から大きく減益を見込んでおります。(ポリシリコンの償却費増△28億円、スポンジチタンの増産立ち上げコスト△18億円)

なお平成23年3月期の配当につきましては、当初予定どおり1株につき10円を計画しております。

\*上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上